

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B14	警察署等冷暖房設備改修費			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設維持管理費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法			針路分野施策	02 0201	県民の暮らしの安心確保 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsゴール 16	SDGsターゲット 16-6
1 事業概要	近年は夏の気温が著しく上昇しており、冷房の不具合は、来庁者や職員の体調悪化に直結するものであるが、警察署等の冷暖房設備は、耐用年数を超過して使用しており、劣化により種々の故障が発生している。 また、メーカーによる修理対応も経年により困難となってきたことから、計画的な予防保全を推進する。 (1) 契約差金による減額 ア 冷暖房設備改修 △2,622千円			5 事業説明 (1) 事業内容 冷暖房設備改修 ア 冷暖房設備更新 飯能警察署(24年経過) イ 冷暖房設備オーバーホール(蕨警察署、小鹿野警察署、加須警察署、交通機動隊) ウ 中央監視装置更新(蕨警察署) (2) 事業計画 ア 令和5年度 (イ) 冷暖房設備改修 本部第一留置施設 (ロ) 冷暖房設備オーバーホール(大宮西警察署、新座警察署、児玉警察署、寄居警察署、上尾警察署) (ハ) 中央監視装置更新(浦和警察署) イ 令和6年度以降 個別計画に基づく整備 (3) 事業効果 警察署に来署された県民へのサービス、警察署等勤務員の執務環境及び被留置者に対する処遇維持、並びに各種設備の効率的運転を図ることができる。また、省エネ機器へ更新することにより、光熱水費の削減及び環境負荷の低減が可能となり、更新までの期間がある機器について予防保全を実施することで、突発的な高額修繕を抑制し、維持管理経費を削減する。 (4) 補正予算の概要 契約差金による減額						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	(1) 地方債の充当率 90% (2) 地付税措置 元利償還金について、その30%を基礎財政需要額に算入									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		県 債								
決定額	△2,622	△3,000						378	233,998	
現計額	236,620	236,000						620		

事業内訳書

事業名	警察署等冷暖房設備改修費		
単位事業名	冷暖房設備改修	予算額	△ 2,622千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△689	—	契約差金（冷暖房設備改修に係る設計委託料）
工事請負費	△1,933	—	契約差金（冷暖房設備改修工事）
合計	△2,622	—	